

2023 年度 熊本県立劇場アニュアルレポート

KUMAMOTO PREFECTURAL THEATER 2023-2024



第 65 回熊本県芸術文化祭オープニングステージ「JAZZ ドリームバンド」

公益財団法人熊本県立劇場

記録写真



2023年5月13日 ホワイエサロンコンサート vol.5



2023年6月17日 ホワイエサロンコンサート vol.6



2023年6月10日 劇場って楽しい！！



2023年7月15～16日 みんなで踊ろう！



2023年8月15日 県劇盆踊り



2023年8月19日 ホワイエサロンコンサート番外編



2023 年 8 月 23 日 行くぜ！劇場探検隊 2023



2023 年 9 月 1 日 ホワイエサロンコンサート vol.7



2023 年 9 月 10 日 第 65 回熊本県芸術文化祭オープニングステージ「JAZZ ドリームバンド」



2023 年 9 月 16～18 日
北部九州ジュニアオーケストラ
ミュージックキャンプ



2023 年 10 月 9 日
東京藝術大学音楽学部
早期教育プロジェクト in 熊本



2024 年 1 月 20～21 日
舞台技術の基礎講座

目 次

○ 記録写真	1
I ごあいさつ	5
II 2023 年度文化事業	6
III 施設利用および管理運営業務	17
IV 広報業務	19
V 劇場および財団の概要	21
VI (公財) 熊本県立劇場中期運営基本方針	26
VII 資料	27

I ごあいさつ

2023 年は、新型コロナウイルス感染症の5類移行にともなう過渡期に対応していました。感染症の猖獗（しょうけつ）という、未曾有の異常な事態を経て、どのようにして「新しい日常」（ニューノーマル）へと移行し、劇場の本来の役割と機能を回復させるのか、その手がかりを掴むのがこの1年の課題だったと言えます。

さらに「日常に劇場を。」をスローガンとする劇場には感染症以前の「旧い日常」への単なる復帰ではなく、「新しい日常」の「創造」が課されていると考え、スタッフ一同、果敢に取り組んできました。



感染症の蔓延によってそれ以前に想定されていた劇場の役割と機能が大幅に制約され、事実上の機能麻痺を余儀なくされる中、痛感したのは「人」の大切さでした。劇場が生き生きとした空間として人々が集う「広場」となるのも、建物や設備、機材などが整っているだけでなく、何よりも劇場に生命を吹き込む「人」の働きによるものであることを痛感した次第です。この場合の「人」とは、劇場の様々な部署のスタッフだけでなく、劇場での演劇や音楽の実演者はもちろん、それを支える様々な人的ネットワーク、さらに劇場に足を運ぶ県民ひとりひとりを網羅しています。

このために特に劇場が重点的に取り組むようにしたのが、「人材育成」であり、関係機関や部署とのネットワークの構築でした。特に数年に及ぶ新型コロナウイルス感染症の拡大で様々な制約や心的な緊張を強いられた多感な青少年への働きかけは、「ポスト・コロナ」をにらんだ地域の人材育成にとって喫緊の課題であり、劇場はそのために多様な取り組みに励んでまいりました。

音楽や演劇を通じた青少年の育成や北部九州ジュニアオーケストラのミュージックキャンプ、さらに演奏家派遣アウトリーチ事業の登録アーティスト選定など、様々な「人材育成」の幅広い展開が確実に功を奏しつつあります。

さらに、県立劇場ならではの大型企画として世界的な指揮者、山田和樹氏による「バーミンガム市交響楽団」公演を実施できたことは、「ポスト・コロナ」へ向かう「ニューノーマル」の確かな手応えを与えてくれました。また新型コロナウイルス感染症で中止に追い込まれていた「県劇盆踊り」を再開出来たことは、これまた「ポスト・コロナ」の「新しい日常」を予感させるものでした。加えて、ジャズ演奏をメインにした「熊本県芸術文化祭オープニングステージ」では、特に県内の中学・高校生公募メンバーがステージを埋め尽くし、迫力満点の生演奏を披露してくれました。その圧巻の迫力に劇場内は、年齢の差を超えて一体となった感動を共有し合うことが出来ました。若い学生のみなさんには生涯、忘れがたい記念の演奏会になったはずです。

新型コロナウイルス感染症は、私たちの地域や社会を一時期とはいえ、文化と芸術の「酸欠状態」に追いやることになりました。劇場は、この困難な時期を拱手傍観するのではなく、様々な工夫やアイディア、意匠を総動員して立ち向かうとともに、「ポスト・コロナ」に相応しい「新しい日常」の芸術と文化の可能性を探る実験的な試みに挑戦してきました。今後も 2023 年の劇場の取り組みとその歴史をしっかりと刻み、第5期の指定管理期間の、劇場の創造的な事業展開に活かしていく所存です。

熊本県立劇場 館長 姜 尚中

Ⅱ 2023 年度文化事業

第4期指定管理者として示された県の方針に則り、5つの柱をもとに取り組みました。

(1) 芸術文化の創造拠点として取り組む事業

- 1 実演芸術に係る人材の育成や確保を行う事業
- 2 地域の公立文化ホールや文化団体を支援する事業
- 3 伝統芸能の継承と発展を支援する事業

(2) 芸術文化の普及拠点として取り組む事業

- 4 実演芸術を鑑賞する機会を県民に提供する事業
- 5 芸術文化に触れる機会を県民に提供する事業

主催事業

◇ 劇場人育成プログラム

1

制作者や技術者等、実演芸術を担う専門人材の育成に係る事業として、公立文化ホール職員向けの研修プログラム「劇場人育成プログラム」を継続実施しています。2023年度は全9回の研修を実施しました。

回	日程	内 容	講 師
1	4/19(水)	概論 持続可能な地域社会のための文化政策 「文化芸術基本法を踏まえ公共ホールの役割を考える」	静岡文化芸術大学 教授 片山泰輔
2	5/16(火)	舞台技術(1)保守点検・改修計画 「ホールの管理、保守点検の考え方、スケジュール管理、 改修計画について考える」	(公財)埼玉県芸術文化振興財団 シニアアドバイザー 山海隆弘
3	6/7(水)	ホール入門(1)危機管理 「文化施設における消防の重要性と注意点」	熊本市中央消防署
4	7/5(水)	舞台技術(2)舞台 「舞台機構操作、現場での安全管理とスタッフ体制」	北九州芸術劇場 テクニカル ディレクター 中村国寿
5	7/12(水)	アートマネジメント(1)社会包摂 バリアフリー・多言語対応「現場体験ワークショップ」	九州障害者アートサポートセンター センター長 樋口龍二
6	9/20(水)	ホール入門(2)接遇 「多様化するお客さまのニーズに応える接遇」	(株)インソース九州支社 岩波美香
7	10/30(月)	舞台技術(3)音響 「音響の仕込み、音響の調整作業の体験」	びわ湖ホール 舞台技術部長 押谷征仁
8	12/7(木)	アートマネジメント(2)広報 「公演の運営と広報」	愛知県芸術劇場 広報・マーケ ティング部長 林健次郎
9	2024. 2/17(土)	アートマネジメント(3)法律 「文化芸術における著作権と法律」	骨董通り法律事務所 弁護士 岡本健太郎

2021 年 4 月からホールを部分的に利用できる新しい施設の使用区分を設け、ホワイエのみを使った小規模の催物の開催など、施設の多様な使い方ができるようになりました。これを機に誕生したのが「ホワイエサロンコンサート」です。県民へ気軽に文化芸術に触れる機会を提供するとともに、出演者には積極的に県出身者を起用し、アーティスト育成の場としても活用しています。2023 年度は邦楽、現代音楽、ワークショップなどバラエティに富んだプログラムをお届けしました。

vol.5 清原晏 箏リサイタル

日時：2023 年 5 月 13 日（土）開演 14：00

会場：熊本県立劇場コンサートホールホワイエ

入場料：3,000 円

入場者数：203 人

出演：清原晏（箏）、細川喬弘（箏）、山上聖宗（ピアノ）

vol.6 藤原道山×SINSKE

日時：2023 年 6 月 17 日（土）開演 14：00

会場：熊本県立劇場コンサートホールホワイエ

入場料：3,000 円

入場者数：194 人

出演：藤原道山（尺八）、SINSKE（マリンバ）

vol.7 現代音楽への誘い

日時：2023 年 9 月 1 日（金）開演 19：00

会場：熊本県立劇場コンサートホールホワイエ

入場料：3,000 円

入場者数：189 人

出演：山崎貴子（ヴァイオリン）、山澤慧（チェロ）、国枝春恵（ピアノ）、山田高誌（ナビゲーター）

共催：国立大学法人熊本大学

番外編 あかちゃんとダンス！

日時：2023 年 8 月 19 日（土）①開演 11：00 ②開演 14：00

会場：熊本県立劇場コンサートホールホワイエ

参加料：500 円

参加者数：48 人

講師：古家優里（振付家・ダンサー）、長谷川風立子（ダンサー）

◇ 劇場って楽しい！！

5

知的・発達障がい児（者）のための劇場体験プログラム。約 350 人の参加者が、コンサート体験を通して、音の大きさや響き、照明の明暗、鑑賞者としてのルールなどを学びました。2019 年度からの継続事業。

日時：2023 年 6 月 10 日（土）開演 14：00

会場：熊本県立劇場演劇ホール

参加料：500 円

参加者数：377 人

出演：カルテット・スピリタス（サクソフォン四重奏）、森岡光（司会）

協力：社会福祉法人熊本市社会福祉事業団、NPO 法人オハイエくまもと、社会福祉法人愛隣園

制作協力：国際障害者交流センター ビッグ・アイ

◇ 山田和樹指揮 バーミンガム市交響楽団

4

イギリスの名門オーケストラ、バーミンガム市交響楽団待望の熊本公演。2023 年 4 月に首席指揮者兼アーティスティックアドバイザーに就任した山田和樹が、同楽団を率いて来熊しました。

日時：2023 年 6 月 23 日（金）開演 19：00

会場：熊本県立劇場コンサートホール

入場料：SS 席 12,000 円 S 席 10,000 円 A 席 8,000 円 B 席 6,000 円

入場者数：1,210 人

出演：山田和樹（指揮）、樫本大進（ヴァイオリン）、バーミンガム市交響楽団（管弦楽）

協賛：(株)肥後銀行

◇ みんなで踊ろう！～障がいのある人もない人も、一緒に踊るワークショップ～

5

障がいの有無にかかわらず参加できるダンスワークショップ。開催した 2 日間で計 45 人が参加し、思い思いに体を動かしました。実施にあたっては、前年度より国際障害者交流センター ビッグ・アイ協力のもと準備を行いました。

日時：2023 年 7 月 15 日（土）①開演 10：30 ②開演 14：30、7 月 16 日（日）開演 10：30

会場：熊本県立劇場演劇リハーサル室

参加料：500 円

参加者数：45 人

講師：藤原美加（ダンサー）

制作協力：国際障害者交流センター ビッグ・アイ

◇ 声楽とオーケストラのタベ～森麻季と錦織健を迎えて～

4

鶴屋百貨店と熊本県立劇場の共同企画。大井剛史指揮/九州交響楽団の演奏に合わせ、森麻季（ソプラノ）と錦織健（テノール）の歌声が響きわたりました。

日時：2023 年 7 月 18 日（火）開演 19：00

会場：熊本県立劇場コンサートホール

入場料：S 席 8,000 円 A 席 7,000 円 B 席 5,000 円

入場者数：815 人

出演：森麻季（ソプラノ）、錦織健（テノール）、大井剛史（指揮）、九州交響楽団（管弦楽）

主催：鶴屋百貨店、（公財）熊本県立劇場

◇ 県劇盆踊り

2

5

熊本地震を機に、地域に開かれた「共生の劇場」を目指して始まった「県劇盆踊り」。台風による中止や新型コロナウイルスを乗り越え 5 年ぶりに開催しました。邦楽の生演奏による盆踊りや公募出演者によるパフォーマンスなど、劇場ならではの祭りとなりました。

日時：2023 年 8 月 15 日（火）開演 16：30

会場：熊本県立劇場演劇ホールホワイエ ほか

入場料：無料

入場者数：2,100 人

出演：新感覚邦楽エンターテインメント集団「あべや」、牛深ハイヤ保存会、中山芳保会

協賛：大腸肛門病センター高野病院、ゆめマート大江、レストラン七彩、リコージャパン(株)熊本支社

協力：大江校区自治協議会、託麻原校区自治協議会、大江校区自治会連合会、託麻原校区自治会連合会

◇ 行くぜ！劇場探検隊 2023

1

子どもたちに劇場や舞台芸術に興味を持ってもらおうと継続して実施しているバックステージツアー。ツアーの前半では舞台の裏を探検しながら実際に音響や照明機材を使った体験を、後半は前半で学んだ舞台装置、音響・照明効果がふんだんに使われた劇を鑑賞しました。

日時：2023 年 8 月 23 日（水）①開演 10：45 ②開演 14：45

会場：熊本県立劇場演劇ホール

参加料：おとな 1,000 円 こども 500 円

参加者数：63 人

スタッフ：構成・演出／池田美樹（劇団きらら） 第 2 部 作・演出／大迫旭洋（不思議少年）

◇ バックステージ（館内見学）ツアー

1

バックステージツアーでは、受け入れる学校等の要望に合わせた多彩なプログラムを企画し全 8 回実施しました。参加した子どもたちが音響・照明機器を操作するなど、学校教育の一環である総合的な学習の時間（自己の生き方を考える探求的な職場体験学習）への取り組みに寄与しました。

参加者数：362 人

◇ 第 65 回熊本県芸術文化祭オープニングステージ「JAZZ ドリームバンド」

1

4

例年企画制作している県民参加の創作ステージとして、世界的トランペッターのエリック・ミヤシロをゲストに迎え、県内中学・高校生による総勢 86 人のビッグバンドを結成。ミヤシロ氏らプロの演奏家より直接指導を受け、共演を果たしました。

日時：2023年9月10日（日）開演 14：00

会場：熊本県立劇場コンサートホール

入場料：2,000 円

入場者数：1,400 人

出演：JAZZ ドリームバンド（熊本県内の中高生公募メンバーによるスペシャルバンド）

エリック・ミヤシロ（トランペット）、本田雅人（サクソフォン）、中川英二郎（トロンボーン）、宮本貴奈（ピアノ＆ヴォーカル）、川村竜（ベース）、川口千里（ドラムス）

村上美香（司会）

主催：熊本県芸術文化祭実行委員会（（公財）熊本県立劇場、熊本県文化協会、熊本県、熊本県教育委員会、熊本日日新聞社、NHK 熊本放送局、RKK、TKU、KKT、FMK、KAB）

協力：熊本県吹奏楽連盟

◇ 北部九州ジュニアオーケストラミュージックキャンプ

1

音楽を通し未来を担う青少年を育成することを目的として、熊本と福岡、長崎、大分各県のジュニア/ユースオーケストラが交流する事業。各地域で活動する青少年との交流を通じて、さらなる演奏技術の向上を図りました。

日程：2023年9月16日（土）～18日（月・祝）

会場：熊本県立劇場コンサートホール

参加団体：福岡ジュニアオーケストラ、iichiko グランシアタ・ジュニアオーケストラ、アルカス SASEBO ジュニアオーケストラ、熊本ユースシンフォニーオーケストラ

参加者数：471 人

主催：（公財）アクロス福岡、（公財）佐世保地域文化事業財団、（公財）大分県芸術文化スポーツ振興財団、（公財）熊本県立劇場

◇ エブリ・ブリリアント・シング ～ありとあらゆるステキなこと～

4

俳優・佐藤隆太による観客参加型の一人芝居。観客も積極的に物語に参加することで、主人公が周囲に支えられながら人生を肯定していくプロセスを共有しました。関連企画として演出補によるレクチャー＆ワークショップを事前に実施。作品への理解をより深めました。

日時：2023年10月3日（火）開演 19：00

会場：熊本県立劇場演劇ホール 舞台上

入場料：4,000 円

入場者数：298 人

出演：佐藤隆太

◇ 東京藝術大学音楽学部 早期教育プロジェクト 2023 in 熊本<ヴァイオリン部門>

1

東京藝術大学の講師によるレッスンを熊本で受けることができる機会。ヴァイオリンの松原勝也教授を講師に迎え、小学4年～中学2年の6名が受講しました。レッスン後には東京藝術大学の学生によるミニコンサートを実施しました。

日時：2023年10月9日（月・祝）開演10：30

会場：熊本県立劇場音楽リハーサル室

受講料：無料

受講者数：6名

講師：松原勝也（東京藝術大学音楽学部教授）

主催：東京藝術大学音楽学部、（公財）熊本県立劇場

協賛：全日本空輸株式会社

◇ クラウス・マケラ指揮 オスロ・フィルハーモニー管弦楽団 ピアノ：辻井伸行

4

新進気鋭の指揮者であるクラウス・マケラと、その手兵と称されるオスロ・フィルハーモニー管弦楽団によるコンサート。ピアニストの辻井伸行をソリストに迎え、ショスタコーヴィチやリヒャルト・シュトラウスの交響詩などを演奏しました。

日時：2023年10月26日（木）開演19：00

会場：熊本県立劇場コンサートホール

入場料：SS席 28,000円 S席 24,000円 A席 21,000円 B席 18,000円

C席 15,000円 D席 10,000円/U-25 5,000円

入場者数：1,395人

出演：クラウス・マケラ（指揮）、辻井伸行（ピアノ）、オスロ・フィルハーモニー管弦楽団（管弦楽）

主催：RKK熊本放送、（公財）熊本県立劇場、BASE CAMP、サンライズプロモーション東京

◇ 舞台技術の基礎講座

1

高校・専門学校・大学生を対象として、舞台、音響、照明それぞれの仕込みから上演、バラシまでを実際に体験することで、舞台技術の基礎を学べる講座を開催しました。舞台芸術や舞台技術者の仕事の魅力や必要性を感じてもらい、将来の舞台技術者養成につなげることを目的として継続して実施しています。

日程：2024年1月20日（土）、21日（日）

会場：熊本市男女共同参画センターはあもにいメインホール

参加料：2,000円

参加者：24人

スタッフ：熊本県立劇場舞台技術スタッフ、熊本市男女共同参画センター舞台技術スタッフ

共催：熊本市男女共同参画センターはあもにい

協力：熊本県高等学校軽音楽連盟・（株）大谷楽器、熊本県高等学校文化連盟

◇ 登録アーティスト募集・育成事業

1

アウトリーチ事業を担う演奏家を募集し、研修を経て登録アーティストに育成する事業。7 人の応募から、熊本県在住/出身の演奏家 3 人を採用し、専門家のもとアウトリーチのプログラムを作成しました。

◇ Noism×鼓童『鬼』

1

4

2022 年夏に、新潟・埼玉・京都・名古屋・鶴岡の 5 都市で上演し好評を博した、Noism Company Niigata と、佐渡を拠点に活動する太鼓芸能集団 鼓童の初共演作品『鬼』。熊本公演ではアフタートークに加え、太鼓芸能集団 鼓童の特別演奏を行いました。また、宇土市民会館において「鼓童」メンバーによる和太鼓経験者向けのワークショップを開催し、県内の太鼓奏者育成の機会を創出しました。

日時：2024 年 1 月 25 日（木）開演 19：00

会場：市民会館シアーズホーム夢ホール（熊本市市民会館）大ホール

入場料：S 席 6,000 円 A 席 4,000 円

入場者数：403 人

出演：Noism Company Niigata、太鼓芸能集団 鼓童

主催：（公財）熊本県立劇場、（公社）全国公立文化施設協会

共催：市民会館シアーズホーム夢ホール

協力：宇土市民会館

◇ 市町村ネットワーク事業

2

県内の公立文化施設と協力し、9 市町で公演・ワークショップを実施し、公演を鑑賞する機会の地域間格差の是正に寄与しました。

6/18（日）	野村万禄 はじめての狂言	荒尾総合文化センター(荒尾市)
7/2（日）	春風亭昇太 独演会	菊池市文化会館(菊池市)
7/8（土）	清和文楽 肥後アマビエ戀歌異聞	益城町文化会館(益城町)
8/20（日）	体で遊ぼう！！古家優里ワークショップ	ながす未来館(長洲町)
8/27（日）	古家優里ダンスワークショップ	宇土市民会館(宇土市)
9/2（土）	絵本 de クラシック「ブレーメンの音楽会」	ウイングまつばせ(宇城市)
9/30（土）	絵本 de クラシック「ピノキオの冒険」	御船町カルチャーセンター(御船町)
10/1（日）	はたけやま裕「音語りの色」 ※関連企画 9/30（土）カフォン WS	天草市民センター(天草市)
10/8（日）	三遊亭好楽 落語会 ※関連企画 9/24（日）三遊亭好一郎落語 WS	桜十字ホールやつしろ(八代市)

◇ 演奏家派遣アウトリーチ事業

1

5

市町村の学校等に演奏家を派遣し、音楽の出前授業を行う事業。2023 年度は過去最多の 12 市町村 81 コマの実施となりました。

開催市町村：美里町、多良木町、水俣市、宇土市、八代市、あさぎり町、津奈木町、南小国町、産山村、
芦北町、荒尾市、益城町

◇ ONE PIECE×人形浄瑠璃 清和文楽「超馴鹿船出冬桜」

3

2022 年度芸文祭スペシャルステージで上演した特別公演「超馴鹿船出冬桜」の清和文楽館定期公演版の初演。県立劇場は制作協力として参画しました。

日時：2024 年 3 月 30 日（土）、31 日（日）開演 13：30

会場：清和文楽館

入場者数：381 人

スタッフ：横内謙介（脚本・演出）、藤原道山（音楽） ほか

主催：清和文楽新作制作事業実行委員会（（一財）清和文楽の里協会、清和文楽人形芝居保存会、山都町、
山都町教育委員会、熊本県）

協力：（公財）熊本県立劇場

共催事業

◇平成音楽大学ブラスオーケストラ

日時：2023 年 6 月 15 日（木）開演 19：00

会場：熊本県立劇場コンサートホール

入場料：一般 2,000 円 学生 1,000 円

入場者数：1,500 人

主催：平成音楽大学

◇第二十六回 夏季狂言の会

日時：2023 年 7 月 17 日（月・祝）開演 14：00

会場：熊本県立劇場演劇ホール

入場料：S 席 8,800 円 A 席 6,600 円 B 席 5,500 円 自由席 3,000 円

入場者数：828 人

出演：野村万作、野村萬斎、野村裕基

主催：熊本「万作・萬斎の会」

◇熊本ユースシンフォニーオーケストラ 第 54 回定期演奏会

日時：2023 年 8 月 13 日（日）開演 14：00

会場：熊本県立劇場コンサートホール

入場料：指定席 2,000 円 一般 1,500 円 高校・大学 1,000 円 小学・中学生 500 円

入場者数：617 人

主催：熊本ユースシンフォニーオーケストラ

◇反田恭平 ジャパン・ナショナル・オーケストラ 熊本公演

日時：2023 年 9 月 3 日（日）開演 14：00

会場：熊本県立劇場コンサートホール

入場料：S 席 7,800 円 A 席 6,900 円 U-25 席 4,000 円 車イス席 6,900 円

入場者数：1,741 人

出演：反田恭平（指揮・ピアノ）、ジャパン・ナショナル・オーケストラ（管弦楽）

主催：RKK 熊本放送

◇大阪フィルハーモニー交響楽団 熊本特別演奏会

日時：2023 年 9 月 19 日（火）開演 19：00

会場：熊本県立劇場コンサートホール

入場料：A 席 5,000 円 B 席 3,000 円 学生 1,000 円

入場者数：480 人

出演：尾高忠明（指揮）、中野りな（ヴァイオリン）、大阪フィルハーモニー交響楽団（管弦楽）

主催：（公社）日本オーケストラ連盟、（公社）大阪フィルハーモニー協会

◇第 61 回熊本県新人演奏会

日時：2023 年 11 月 4 日（土）開演 18：15

会場：熊本県立劇場コンサートホール

入場料：1,000 円

入場者数：640 人

出演：オーディションで選抜された、熊本県出身または在住の若手演奏家

主催：熊本県文化協会

文化芸術振興への取り組み

◇ぴっころシート

ぴっころシートとは、普段舞台芸術に触れる機会が少ない児童養護施設の子どもたちに生の舞台を鑑賞する機会を提供し、心豊かな青少年の育成に寄与するため、2007 年度よりスタートした子ども招待制度です。近年は対象を里親家族やグループホームにも広げ、多くの子どもたちが舞台芸術を楽しんでいます。

2023 年度実績

3～6 歳	小学生	中学生以上	引率・保護者	合計（人）
4	73	11	31	119

※3 公演に 8 施設、里親 2 家族が参加

◇子ども未来プロジェクト（子どもの鑑賞支援）

子どもたちが本格的な実演芸術を鑑賞・体験する機会の提供及び将来の文化芸術の担い手や観客育成に資することを目的とし、2024 年度より一部の文化事業に 18 歳以下の子どもを無料で招待します。

2024 年度対象事業

- ・全国共同制作オペラ「ラ・ボエーム」
- ・パーヴォ・ヤルヴィ指揮ドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団

◇部活動等支援事業

熊本県内の小・中・高等学校及び専門学校、大学等の部活動・サークル活動、または熊本県内に拠点を置く学生を主体とする地域クラブを対象に、学校等の部活動またはサークル活動に対してホール使用料を助成することで、青少年の芸術文化活動を支援する事業です。

◇文化活動支援事業

県民へ熊本県立劇場での舞台芸術の発表の機会の提供と、公演のレベルアップを図ることを対象として、ホール使用料相当額を助成する事業です。熊本県立劇場広報媒体での周知も行いました。

2023 年度の実績

	ジャンル	公演名	団体名	公演日
1	演 劇	熊本子どもミュージカル 第 11 回公演「しあわせの青い鳥」	児童劇団「大きな夢」 熊本子どもミュージカル父母会	4/15(土)
2	オーケストラ	～北と南の絆のハーモニー～ どさんこ青少年オーケストラ×熊本ユース シンフォニーオーケストラ ジョイントコン サート	熊本ユースシンフォニーオーケ ストラ	5/6(土)
3	洋 舞	レイ DANCE STUDIO 創立 20 周年記念 「白鳥の湖」全幕公演	レイ DANCE STUDIO	8/6(日)
4	オーケストラ	ザ・シンフォニエッタ第 35 回演奏会	ザ・シンフォニエッタ	9/2(土)

助成の状況

多様な財源の確保のため、文化庁文化芸術振興費補助金をはじめとした 3 つの助成事業に申請し、すべて採択されました。

文化庁文化芸術振興費補助金 (劇場・音楽堂等活性化・ネットワーク強化事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会	第 65 回熊本県芸術文化祭オープニングステージ「JAZZ ドリームバンド」
	山田和樹指揮 バーミンガム市交響楽団
	ホワイエサロンコンサート
	舞台技術の基礎講座
	劇場人育成プログラム
	登録アーティスト募集・育成事業
	市町村ホールネットワーク事業
	演奏家派遣アウトリーチ事業
	劇場って楽しい！！ ～知的・発達障がい児（者）にむけての劇場体験プログラム～
	みんなで踊ろう！ ～障がいのある人もない人も、一緒に踊るワークショップ～
	行くぜ！劇場探検隊 2023
	県劇盆踊り
(一財) 地域創造	エブリ・ブリリアント・シング ～ありとあらゆるステキなこと～
文化庁文化芸術振興費補助金統括 団体による文化芸術需要回復・地域活性化事業 (アートキャラバン 2) 独立行政法人日本芸術文化振興会	Noism×鼓童『鬼』

Ⅲ 施設利用および管理運営業務

1 施設の利用状況

2019 年度から 2020 年度にかけて新型コロナの影響を受け、ホールの利用率・入場者数ともに減少したものの、2022 年度はコロナ禍前の水準まで回復。2023 年度は改修工事によりホールの利用提供ができない期間もありましたが、目標を上回る利用率・入場者数を達成しました。

2021 年 4 月から、条例改正によりホールの部分利用が可能となり、同年 11 月にはコンサートホールホワイエにセミコンサートピアノを設置、ホワイエを使用した室内楽等の公演を実施しやすいよう環境を整備しました。改修工事による約 4 ヶ月の貸出停止期間がありましたが、両ホール合計で前年度を上回る利用があり、ホワイエコンサートや講演、レセプション等幅広い用途で活用されています。

年度	開館 日数	コンサートホール		演劇ホール		大会議室		入場者数 (人)
		利用日数	利用率(%)	利用日数	利用率(%)	利用日数	利用率(%)	
2023	336	169	81	182	87	113	52	332,575
2022	335	206	76	223	77	160	53	382,131
2021	335	137	46	178	61	95	32	213,721
2020	319	41	28	49	34	38	22	70,764
2019	335	186	64	207	71	205	65	501,993

2 使用料の収納状況

県立劇場の使用料の収納については、県の会計規則に基づき、適正に納付を行いました。

年度	施設使用料	駐車場使用料	(単位：千円)
2023	101,442	56,125	
2022	123,322	56,380	
2021	93,895	36,560	
2020	61,137	17,720	
2019	116,681	61,311.	

3 県立劇場の施設等の維持および修繕に関する業務

(1) 大規模改修工事

施設の老朽化に伴い、熊本県が策定している計画改修工事の一環として、11 月 13 日から 2024 年 3 月 15 日までの約 4 か月にわたって改修工事が行われました。

・コンサートホール舞台機構（迫り）更新	・屋外汚水、雨水排水設備の更新
・コンサートホール舞台床研磨、塗装	・蓄電池設備の更新
・演劇ホール舞台照明の更新	・館内時計設備の更新
・ホール内の空調騒音の解消	・音楽・演劇リハーサル室、和室の照明の LED 化
・大会議室の音響・照明設備の更新	・特殊照明設備の LED 化
・ピアノ庫、楽屋・控室前通路の個別空調の増設	・外灯照明の LED 化

- ・空調自動制御システムの更新
- ・非常用発電機の更新（屋外移設）

- ・電力（高圧）引込開閉器の更新

（2）施設設備の維持管理

県立劇場は、不特定多数が利用する大規模施設であり、劇場という施設の性質上、高い安全性と快適性の確保が求められています。適切なメンテナンスおよび修繕によりトラブルを未然に防止することで、施設利用の継続性を確保しています。

2023 年度は、計画的に樹木剪定や伐採、植栽（6 区画）を行ったほか、設備や機器の更新、取換工事など、24 件の施設設備の修繕工事が行われました。

Ⅳ 広報業務

1 広報誌

広報誌のコンセプトを「つながる、ひろがる、あつまる ほわいえ」とし、これまで文化事業に偏っていた広報内容から、県立劇場の活動全般の情報発信を強化し、県民の県立劇場への理解を深めるよう発行作業を行っています。

■熊本県立劇場マンスリーインフォメーション

（毎月 15 日、毎 5,000 部発行）＊12～2 月号は工事のため休刊

■熊本県立劇場季刊誌ほわいえ（年 4 回、毎 5,000 部発行）

年 4 回発行する季刊誌ほわいえは、web 版の導入でバックナンバーの検索が容易になり、季刊誌が届かない人・場所への広報が広がり、より多くの人へのアプローチができるようになりました。

発行日	内容
6 月 20 日	2023 夏号 vol.017 特集：県立劇場が取り組む「社会包摂事業」 事業：ホワイエサロンコンサート vol.5、アウトリーチ事業
9 月 20 日	2023 秋号 vol.018 特集：ようこそ広場へ「県劇盆踊り」 事業：みんなで踊ろう！～障がいのある人もない人も、一緒に踊るワークショップ～ Noism×鼓童『鬼』
12 月 20 日	2023 冬号 vol.019 特集：伝承芸能トークセッション 劇場×清和文楽×神楽 お知らせ：改修工事に伴う施設の利用停止
2024 年 3 月 20 日	2024 春号 vol.020 特集：劇場の未来を話そう 事業：2024 年度ラインアップ

2 文化事業年間パンフレットの製作・配布

2023 年度の文化事業を紹介する年間パンフレットを製作。15,000 部を県内外の公立文化ホールや公共施設、教育機関等に配布しました。

3 インターネット、ホームページの運用

2023 年度に公式ホームページのデザインを一新し訪問者にとって必要な情報がすぐに探せるレイアウトに変更。サイトマップも順次更新します。新着情報を掲載したほか、チケット発売・完売情報、公告などの情報発信を行いました。

4 チケット販売

チケットシステムの更新により、インターネット、スマートフォンでのチケットの予約購入、クレジットカード決済、コンビニエンスストアでの支払い・チケット受け取りが可能となり、利用者の利便性の向上に努めています。

2023 年度のチケット販売実績は、4 か月の改修工事の影響で昨年度の販売枚数、金額には届かなかったものの、上期の販売は好調でした。

特に、インターネット販売の占める割合は 54%（昨年度比 2P 増）と昨年度に引き続き過半数を超え、定着したことが窺えます。

また、県立劇場で開催される公演に留まらず、県内公立文化施設で行われる公演チケットの受託販売が件数・金額ともに増えています。

〔チケット販売実績〕

	2023 年度	2022 年度	2021 年度
販売枚数	11,719 枚	13,958 枚	9,808 枚
販売金額	62,205,300 円	63,242,900 円	31,782,200 円

5 先行予約会員制度

2019 年 6 月から先行予約会員に向け、文化事業のチケット先行予約販売を実施しています。

先行予約会員には、2024 年 3 月末で 14,980 人（2023 年 3 月末 11,660 人、3,320 人増）が登録しています。

V-i 熊本県立劇場の概要

1 建物概要

名 称	熊本県立劇場
所 在 地	熊本市中央区大江 2 丁目 7 番 1 号
敷 地 面 積	44,896 m ²
建 築 面 積	10,100 m ²
延 床 面 積	23,956 m ²
構 造	鉄骨・鉄筋コンクリート造 一部鉄筋コンクリート造 地下 2 階地上 3 階
設 計	建築設備 前川國男建築設計事務所
工 期	1980 年 12 月 20 日～1982 年 11 月 30 日
落 成	1982 年 12 月 4 日

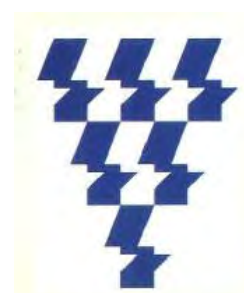
2 施設概要

コンサートホール	クラシック音楽を中心にした音楽専用ホール。 約 2 秒の豊かな残響を持ち、ホールそのものが楽器と称されています。 「音楽家が選ぶ優良ホール 100 選」に選ばれるホールは、人の声を柔らかく響かせ、シンフォニーの音をダイナミックに伝えます。 収容定員 1,810 人 1 階 1,186 席/2 階 257 席/3 階 359 席 車椅子席 8 席
演劇ホール	オペラ、バレエ、歌舞伎、演劇等のあらゆる舞台芸術に対応したホール。最後部からでも演者の表情が見えるよう、舞台と客席の距離を計算して設計されています。 本花道を設けることができる数少ないホールとして、名舞台を生み出しています。 収容定員 1,172 人 地階 421 席/1 階 456 席/2 階 284 席 車椅子席 11 席
大会議室	地下 1 階 390 m² 収容定員 椅子のみ 360 人 机椅子使用 162 人
和室	地下 1 階 180 m ²
音楽リハーサル室	地下 1 階 308 m ²
演劇リハーサル室	地下 1 階 253 m ²
第 1 練習室	2 階 215 m ²
第 2 練習室	2 階 162 m ²
第 3 練習室	1 階 156 m ²
駐車場	普通車 496 台/バス専用 5 台
駐輪場	約 150 台

3 シンボルマーク

グラフィックデザイナーの福田繁雄氏によるデザイン。

人をデザインのモチーフに、喜びあふれた人々の笑顔を今日的な直線によって構成。九州の地形である末広がりの構造で、無限に広がる芸術文化に対する県民の意志を象徴させています。



V-ii（公財）熊本県立劇場の概要

1 設立趣意書

熊本県が建設する熊本県立劇場は、高まり行く県民の文化的欲求に対応するとともに、地域文化開発の拠点となって、活力ある郷土の実現をめざすこととなるのであるが、その管理運営が極めて重要な課題となる。

現下の厳しい社会情勢にかんがみ、県立劇場の管理運営にあたっては、行政負担を抑制すると同時に行政サービスを低下させることなく、効率的かつ適正な執行体制を確保する必要がある。

このことから、県民の福祉および文化の向上を図るための諸事業を実施し、県立劇場施設の管理委託を受けて、県民生活向上のためのサービスを提供する財団法人を設立のうえ、県立劇場建設の所期の目的を達成するため、民間のエネルギーおよび感覚をもって、より効果的運営を図ろうとするものである。

（財団法人熊本県立劇場設立趣意書より）

2 法人の目的および事業

（1）目的（定款第3条）

この法人は、活力ある郷土の実現をめざし、音楽、演劇、舞踊等の舞台芸術活動を中心とした芸術文化および地域文化の振興のための事業並びに優れた舞台芸術を広く提供する事業を行い、県民の福祉および文化の向上に寄与することを目的とする。

（2）事業（定款第4条）

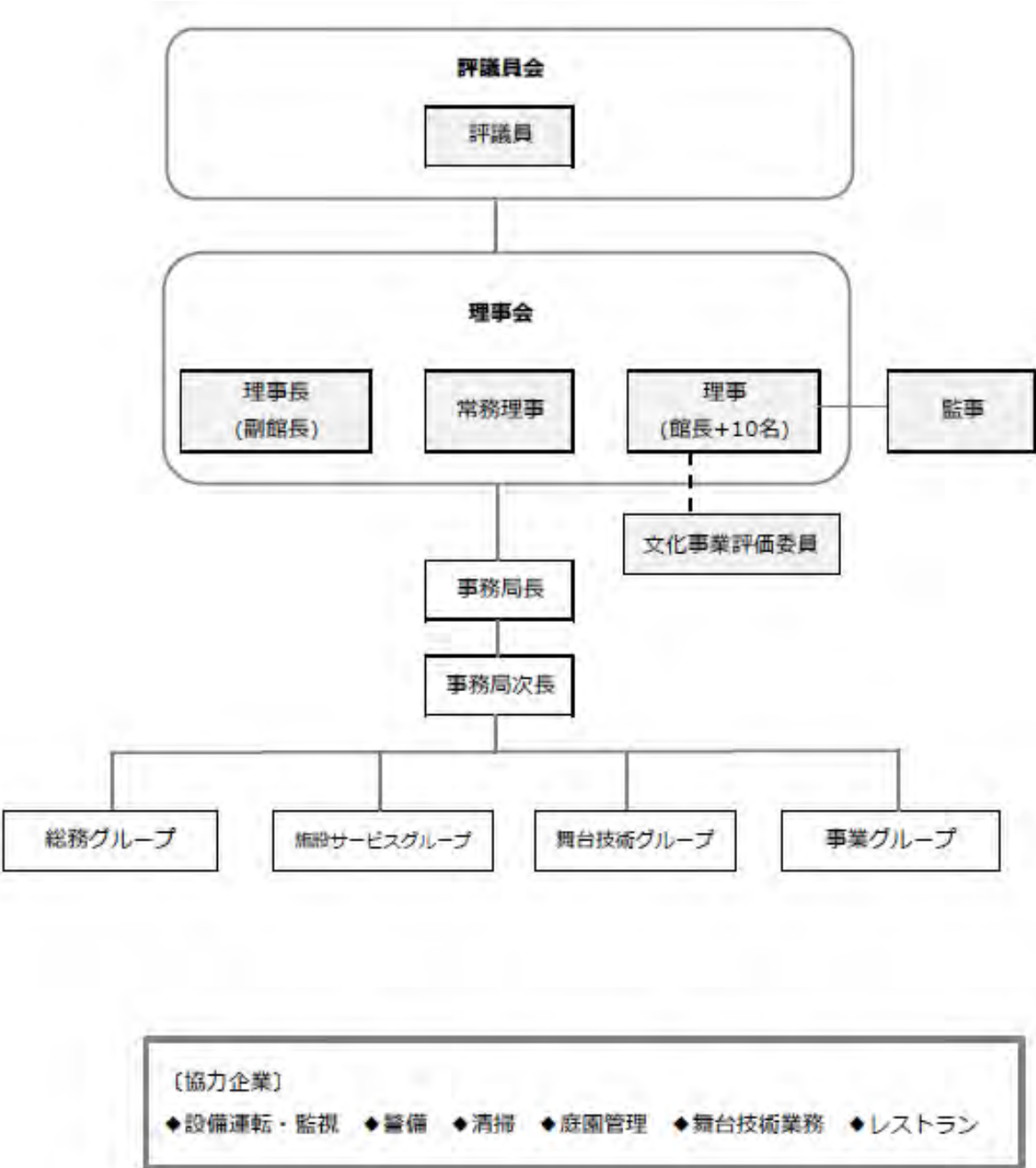
- ・舞台芸術に関する公演を自主制作、又は、主催し、広く提供する事業
- ・個人および団体への助言並びに人材の育成に関する事業
- ・団体への助成に関する事業
- ・調査、研究、情報収集に関する事業
- ・普及・啓発のための広報に関する事業
- ・公立文化施設の管理および貸与に関する事業
- ・その他この法人の目的を達成するために必要な事業

（3）沿革

1982	昭和 57 年	6 月	14 日	財団法人熊本県立劇場の設立（民法第 34 条法人）
		6 月	23 日	熊本県立劇場条例施行
		12 月	4 日	熊本県立劇場落成
1984	昭和 59 年	3 月	5 日	財団法人熊本県立劇場文化事業委員会の発足
1988	昭和 63 年	7 月	1 日	鈴木健二館長就任
		8 月	20 日	文化振興基金の開設
1989	平成元年	3 月	25 日	消費税率改正（3%）に伴う熊本県立劇場条例一部改正（施設使用料金・駐車場料金）
		3 月	30 日	施設設備基金の開設
1993	平成 5 年	1 月	20 日	改修工事（演劇ホールバリアフリー化等）により 8 月 24 日まで利用停止
1994	平成 6 年	3 月	31 日	自主文化事業調整基金の開設
1997	平成 9 年	3 月	25 日	消費税率改正（5%）に伴う熊本県立劇場条例一部改正（施設使用料金）
		12 月	24 日	改修工事（コンサートホール隣壇自動迫化等）により 1998 年 3 月 28 日まで利用停止

1998	平成 10 年	3 月	25 日	熊本県立劇場条例一部改正
		7 月	1 日	施設使用料金の改定、施設使用許可取扱要領を整備(優先受付)
1999	平成 11 年	3 月	1 日	財団法人熊本県立劇場評議員会の発足(文化事業委員会の廃止)
		4 月	1 日	川本雄三館長就任
2002	平成 14 年	4 月	1 日	自主文化事業調整基金を一新し文化振興基金に改め運用開始
2003	平成 15 年	12 月	22 日	改修工事（演劇ホール照明・音響設備等）により 2004 年 3 月 18 日まで利用停止
2005	平成 17 年	6 月	1 日	古田勝人館長就任
		7 月	1 日	熊本県立劇場条例および条例施行規則改正の公布（指定管理者による施設の運営が可能）
		10 月	31 日	熊本県立劇場保全計画の策定
2006	平成 18 年	4 月	1 日	熊本県立劇場指定管理者業務開始〔第 1 期〕
				文化振興基金および施設設備基金の廃止
		6 月	23 日	財団法人熊本県立劇場自主文化事業委員会の発足
		7 月	1 日	葉山完治館長就任
2009	平成 21 年	4 月	1 日	熊本県立劇場指定管理者業務開始〔第 2 期〕
2010	平成 22 年	1 月	19 日	第 6 回地域創造大賞（総務大臣賞）受賞
		8 月	3 日	改修工事（コンサートホール車椅子席新設）により 8 月 27 日まで利用停止
		12 月	22 日	熊本県立劇場条例一部改定（公の施設から暴力団を排除するための関係条例の整備）
2011	平成 23 年	12 月	26 日	改修工事（空調設備等）により 2012 年 3 月 31 日まで利用停止
2012	平成 24 年	4 月	1 日	公益財団法人へ移行登記
				熊本県立劇場指定管理者業務開始〔第 3 期〕
2014	平成 26 年	3 月	26 日	運営方針の制定、消費税率改正（8%）に伴う熊本県立劇場条例一部改正(施設使用料金)
		4 月	1 日	熊本県立劇場条例一部改正（改正条例の施行）
				熊本県立劇場運営方針の施行
		12 月	8 日	改修工事（衛生設備等）により 2015 年 3 月 4 日まで利用停止
2016	平成 28 年	1 月	1 日	姜尚中理事長兼館長就任
		2 月	29 日	熊本県立劇場保全計画の見直し
		4 月	15 日	熊本地震発生により 8 月 24 日まで休館(熊本地震による災害応急復旧工事)
		12 月	19 日	熊本地震を受けて第 3 期指定管理者期間の 2 年延長
2017	平成 29 年	2 月	1 日	熊本地震災害本格復旧工事により 2018 年 3 月 20 日まで新規利用停止
		5 月	29 日	熊本県と熊本市との連携による文化芸術の振興に関する覚書の締結
		8 月	28 日	熊本市市民会館の指定管理業務の運営に係る包括協定書の締結
2018	平成 30 年	2 月	1 日	改修工事(コンサート及び演劇ホール舞台照明改修工事)により 3 月 20 日まで利用停止
		4 月	1 日	熊本市市民会館文化企画事業の受託開始
				改修工事（演劇ホール舞台吊物機構）により 8 月 16 日まで利用停止
		6 月	27 日	熊本県立劇場文化事業評価委員会の設置（文化事業委員会の廃止）
2019	平成 31 年	10 月	17 日	熊本県立劇場条例一部改正（強化すべき役割と運営体制の特例）
		3 月	22 日	消費税率改正（10%）に伴う熊本県立劇場条例一部改正（施設使用料金）
		4 月	1 日	熊本県立劇場指定管理者業務開始〔第 4 期〕

2020	令和 2 年	3 月	11 日	学校法人御船学園平成音楽大学と包括連携協定の締結
		3 月	13 日	学校法人未来創造学園熊本デザイン専門学校と包括連携協定の締結
		4 月	3 日	新型コロナウイルス感染拡大により 5 月 6 日までのホール利用停止と新規の使用許可申請の受付停止
		4 月	22 日	新型コロナウイルス感染拡大により 5 月 6 日まで臨時休館（全館利用停止）
		5 月	6 日	新型コロナウイルス感染拡大により 5 月 20 日までホール等利用停止の延長(練習室等一部施設は利用再開)
		5 月	18 日	第 29 回 BELCA ロングライフ部門受賞
		5 月	28 日	新型コロナウイルス感染症防止により、政府のイベント開催制限の段階的緩和の目安が示され、全施設の利用再開
		10 月	26 日	改修工事（両ホール音響設備、トイレ等衛生設備改修工事他）により 2021 年 3 月 19 日まで利用停止
2021	令和 3 年	3 月	15 日	国立大学法人熊本大学教育学部・大学院教育学研究科と包括連携協定の締結
		3 月	26 日	熊本県立劇場条例一部改正（ホールの部分利用）
		5 月	14 日	新型コロナウイルスまん延防止等重点措置の適用により、6 月 13 日まで施設の利用時間制限（全施設の利用時間は 20 時まで。但し、イベント開催時の本番の利用時間は 21 時まで）
		11 月	7 日	熊本県吹奏楽連盟創立 65 周年記念式典にて表彰（吹奏楽発展に寄与）
		11 月	25 日	宮城県東松島市長から震災特別感謝状授与（被災地支援事業）
2022	令和 4 年	12 月	4 日	熊本県立劇場開館 40 周年
2023	令和 5 年	11 月	13 日	改修工事（空調、電気及び照明設備等の更新）により 3 月 15 日まで利用停止
2024	令和 6 年	4 月	1 日	熊本県立劇場指定管理者業務開始〔第 5 期〕
		5 月	29 日	熊本交響楽団と包括連携協定の締結



VI 第4期指定管理期間（2019～2023年度）における中期運営基本方針

熊本県立劇場（以下、「県立劇場」という。）の第3期指定管理団体に選定された財団法人熊本県立劇場は、2012年4月1日に公益認定を受け、新たに公益財団法人熊本県立劇場（以下、「当財団」という。）として再スタートしました。

当財団は、活力ある郷土の実現をめざし、音楽、演劇、舞踊等の舞台芸術活動を中心とした芸術文化および地域文化の振興のための事業ならびに優れた舞台芸術を広く提供する事業を行い、県民の福祉および文化の向上に寄与することを目的としています。

開館以来 36 年にわたり熊本県立劇場の運営を担っており、県と連携のもと豊富な経験とノウハウ、実績を積み重ね、芸術文化の拠点としてさらに県民の期待に応えられるよう取り組んできたところです。

そのような中、2016 年熊本地震は、地域の自然環境や経済・社会的インフラ、さらにはコミュニティや社会資本の在り方に大きな変化をもたらしました。県立劇場の役割は、芸術的な創造に積極的に関与するとともに、県民が文化的・芸術的な価値を享受できるような環境を整備し、さらに地域に密着した公共施設の提供と交流に資することにあります。しかしながら、「創造的復興」を目指す過渡期の県民のニーズは、震災によって毀損された環境やインフラ、経済的安定や生活基盤、さらに地域の伝統や心の平穏の回復にあると思われる、劇場の役割はさらに広がったと考えます。

こうした状況の変化と、加えて「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」を受けて策定された熊本県立劇場運営方針および今般の熊本県立劇場条例の改正の趣旨を踏まえ、以下の4点を基本方針として施設の管理運営にあたりました。（2019年3月策定）

1

「共生の場」としての劇場

質の高い音楽や演劇等の実演芸術を提供する「創る劇場」「観る劇場」としての機能をさらに高めるとともに、文化芸術の力で震災後の心の復興に寄与し、これまで以上に県民に寄り添う「共生の広場」を目指します。

2

安全で心安らぐ劇場

熊本地震を受けて、さらに安全で心安らぐ、快適な空間づくりを行い、県民が集う「広場」としての劇場を目指します。

3

公の施設としての使命を果たす劇場

施設の管理運営にあたっては、館の設置目的および当財団の目的に照らし公平公正のもとに質の高い県民サービスを行います。また、県内公立文化ホールの中核施設として、県内の実演芸術を担う人材の育成および確保と、実演芸術振興のための関係機関との連携の強化を目指します。

4

新たな役割に応えるための 安定的な運営体制の確保

施設の管理運営および文化事業の展開にあたっては、効率的、効果的な実施に努め、最大限の事業効果の発現を目指します。また、多様な財源の確保と県民参加の仕組みづくりにより、安定的な運営体制を確保します。

□資料 1 [新聞記事] 熊本日日新聞社 提供

「箏といえは清原」目指したい



初のリサイタルを前に、「音色を重視しこだわりを持って演奏したい」と話す清原晏＝熊本市中央区の県立劇場

大津町拠点に活動 箏曲家・清原晏

大津町を拠点に県内外で活動する箏曲家、清原晏が13日、県立劇場（熊本市中央区）で初のリサイタルを開く。昨年の「くまもと全国邦楽コンクール」では、県在住・出身者として初めて最優秀賞を受賞。邦楽界期待の23歳は「古来からある箏の音色の良さを生で聴いてほしい」と力を込める。

初めて箏に触れたのは5歳の時。後に師事する二宮鼎代から手ほどきを受け、保育園のお遊戯会で「くまのきんぐ」を弾いた。「爪をはめて弦を弾くだけで音が出るのがうれしかった」。小学4年からは、2年ごとに開かれる全国邦楽ジュニアコンクールに出場。中学ではバレーボール部、高校では吹奏楽部でトランペットと違つ分野にチャレンジしながらも、箏は趣味程度に続けていた。

13日県立劇場 音色の良さを生で 初リサイタル



昨年のくまもと全国邦楽コンクールで最優秀賞を受賞した清原晏（左）。右は助演する細川喬弘＝2022年6月

で迷った。3年時の全国高校生邦楽コンクールで奨励賞を受賞。同年代で競つコンクールで受賞できたことで自信が芽生える。箏で2位だった同じ年の細川喬弘から、「一緒に東京芸大に行こう」と誘われ心を決めた。

難関を一発で突破。うれしさと同時に「幼い頃から専門的に学んできた人もいるのに、やっていけないだろうか」と怖さを感じた。入学当初は授業に付いていくのに必死だったが、新型コロナウイルス禍でのオンライン授業などを乗り越えて昨春卒業。箏曲家

として活動を始めた。くまもと全国邦楽コンクールで頂点に立ったことについて、「幼い頃から憧れていたコンクールだったし、『熊本で開催されるなら県民が1位を取らなきゃ』と二宮先生からも言われていた。うれしさよりも達成感の方が強かった」と振り返る。「1位になったからには中途半端な演奏はできない」と、常に緊張感を持ってステージに臨んでいるという。

13日は細川も出演し、箏曲をはじめジブリの曲なども披露。会場はコンサートホールホワイエ（ロビー）で、窓越しに木々の緑が見えるなど開放感あふれる中での演奏となる。「初夏らしい曲を選んだ。新緑の清らかな雰囲気の中でフレッシュな演奏を楽しんでほしい」

箏の魅力について、「力が強ければスパンとしっかりした音が出るし、弱い力でも柔らかな音が出る。人それぞれの音が出せる」と語る。「『箏といえは清原』といわれるような箏曲家を目指したい」

午後2時開演。3千円、25歳以下、障害者は1500円。未就学児不可。同劇場8096（363）22638。（緒方李咲）

2023年5月7日付熊日

演奏に合わせてみんなでポーズを決めるなど、参加者は全身でコンサートを楽しんでいた＝10日、熊本市中央区の県立劇場



生演奏に触れて 劇場って楽しい

障害児ら400人鑑賞

熊本市中央区

知的・発達障害のある子どもたちが生の演奏に触れて、コンサートや劇場の楽しさを体験するプログラム

「劇場って楽しい!!」が10日、熊本市中央区の県立劇場であり、約400人が参加した。

障害のある人たちが芸術や文化に触れる機会を増やすと、同劇場が国際障害者交流センター「ビッグ・アイ」(大阪)の協力を得て、2019年から開いている。

熊本を拠点に活動する劇団「不思議少年」の森岡光さんが、鑑賞時のマナーや開演フザーの意味、照明演出の効果などについて説明。サクソフォン四重奏の「カルテット・スピリタス」(東京)が「ムーニンリバー」「マンボ№5」やアニメテーマ曲のメドレーなどを演奏すると、参加者はメロディーに合わせて手拍子をしたり、踊ったりして楽しんだ。

子どもたち8人と鑑賞した児童発達支援・放課後等デイサービス「こどもみらいらぼS.A.I」(宇城市)の林田裕子さん(39)は、「みんな心から喜んでくれた。初めて劇場に来た子ばかりで、いい経験になりました」と満喫した様子。

メンバーの1人でテナー・サクソスの東涼太さん(43)「熊本市出身」も「なるべく親しみやすい曲を用意した。反応が良く、客席ともチャッチボールができて楽しかった」と話していた。(坂本尚志)

2023年6月11日付熊日

県劇盆踊り にぎやか

地元住民らも
飛び入り参加



輪になって炭坑節を踊る地元住民ら

熊本市中央区

熊本市中央区の県立劇場で15日夜、「県劇盆踊り」があった。台風や新型コロナウイルス禍の影響で5年ぶりの開催。浴衣姿の地元住民も飛び入り参加し、輪になって踊りを楽しんだ。

この日の県劇は、紅白のちょうちんが飾られたステージを中心に、かき氷やリングあめが売られ、「祭り会場」に様変わり。姜尚中館長は「県立劇場は皆さんと共にある『広場』。懐かしい雰囲気の中で、老いも若きも一緒に踊って思い出をつくってください」と呼びかけた。

メインステージでは、津軽三味線全国大会チャンピオンを中心に結成された「あべや」の生演奏に合わせ、日本民謡「中山芳保会」が炭坑節を披露。途中からは住民らも加わり、会場は熱気に包まれた。牛深ハイヤ保存会も軽快なハイヤ節を披露して盛り上げた。(澤本麻里子)

2023年8月16日付熊日

夢のジャズバンド 練習に熱

第65回県芸術文化祭が9月10日、熊本市中央区の県立劇場で開幕する。オープニングを飾るのは「吹奏楽とジャズ」をテーマにしたステージ。国内外で活躍するトランペッターのエリック・ミヤシロら特別ゲストが、県内の中高生でつくる「JAZZドリームバンド」と夢のセッションを繰り広げる。

米ハワイ州出身のミヤシロは米国人トランペッターの父と、日本人でダンサー・俳優の母の下で育ち、中学生からプロ演奏家として活動をスタート。1989年に来日すると、吹奏楽やオーケストラとの共演のほか、大学講師や作曲家など幅広く活躍している。

ドリームバンドは県内中学・高校吹奏楽部の有志86

県芸術文化祭 来月10日、県劇 中高生とミヤシロら共演



県芸術文化祭のオープニングステージに向けた合同練習で、中高生を指導するエリック・ミヤシロ
＝県立劇場

人で構成。本番では、ミヤシロが編曲したジャズバージョンをはじめ本田雅人（サックス）や中川英二郎（トロンボーン）ら日本を代表する一流のジャズミュージシャン6人が加わり、ミヤシロとプロによる初の合同練習

12、13日は県劇で中高生とプロによる初の合同練習

があった。セクション別の練習で、ミヤシロはウォーミングアップの方法や高い音の出し方などをジョークを交えながら指導。「熊本の子は素直で人懐っこく、学校が違っても互いにリスペクトする姿が印象的だ。プロとの共演を通してそれぞれが自由に音楽を感じ、楽しいステージにしてほしい」と期待を寄せていた。

全体リーダーの1人でサックスの谷本愛衣さん（熊本農高3年）は「プロは音量も音の質もすごくて刺激になる。たくさん学んで本番では喜びや力強さを表現し、聴く人も演奏者も元気になるような演奏をしたい」と意気込んだ。

午後2時開演。当日はプロミュージシャンによる演奏もある。全席自由で2千円。25歳以下と障害者は千円。県劇096(363)2233。(前田晃志)

県劇の裏側 ワクワク探検

照明、音響機器操作
小学生ら演出体験

普段見ることができない
県立劇場（熊本市中央区）
の舞台裏を演劇仕立てで公
開する「行くぜ！ 劇場探
検2023」が23日、同
劇場であった。小学生と保
護者ら60人は舞台上部の通
路を通ったり、照明や音響
の操作を体験したりして楽
しんだ。

子どもたちに劇場や舞台
芸術に親しんでもらおうと
同劇場が毎年開催。県内を
拠点に活動する劇団の俳優
らが探検隊や海賊にふん
し、クイズを交えながら演
じた。

劇ホールを案内した。
子どもたちは照明を扱っ
た調光室や音響ブースなどを
訪れ、機器を操作して舞台
演出を体験。舞台装置に乗
って奈落に下りるなど劇場
の裏側を満喫した。

見学後は学んだ技術や鑑
賞マナーを紹介するオリジ
ナル劇を鑑賞。長嶺小5年
の山内涼那さんは「劇場に
は来たことがあったけどい
つも見られない場所に入れ
て良かった。照明の操作が
面白かった」と笑顔で話し
た。（前田晃志）



調光室で機器を操作し、舞台上に照明を当てる
小学生＝熊本市中央区

2023年8月24日付熊日

音響、照明 裏方の仕事に密着

県立劇場が舞台技術講座



音響や照明などの舞台技
術を学ぶ講座が20、21日、
熊本市中央区の市男女共同
参画センターはあもにいで
あった。県内外の高校・大
学生ら21人が参加し、バン

ド公演の準備からリハーサ
ル、本番、撤収作業を体験
し裏方の仕事を学んだ。
舞台スタッフは全国的に
不足しているため、若い人
に興味を持ってもらおう

舞台上の照明の角度などを
調整する参加者
＝21日、熊本市中央区

と、熊本県立劇場（同区）
が毎年企画。同劇場と同セ
ンターの舞台スタッフが講
師を務めた。

参加者は舞台の専門用語
や機材の基本的な操作方法
について講習を受け、21日
は県内のアマチュアバンド
公演の仕込みに挑戦。3ケ
ループに分かれて舞台上の
照明の角度や色の調整、音
響設備の設置などを体験し
た。

熊本中央高軽音楽部の元
部長、田村天さん（3年）
＝菊陽町＝は「マイクの種
類や音響機材の仕組みなど
を詳しく知ることができ
た。将来は音楽関係の仕事
を希望しているので良い刺
激になった」と話した。

（前田晃志）

2024年1月22日付熊日

県立劇場40周年ロゴ
上位9作品入賞
九州ADCアワード

昨年、開館40周年を迎えた県立劇場（熊本市中央区）の記念ロゴマークが、優れたアートディレクションを表彰する「九州ADCアワード2023」で、全応募の中から上位9作品に贈られるベスト9を受賞した。

同アワードは、デザイナー



Life with a Theater.

県立劇場40周年の記念ロゴマーク
(県劇提供)

「など」でつくる一般社団法人九州アートディレクターズクラブ（福岡市）が12年から開催。九州・沖縄・山口県在住のクリエイターの作品を対象で、今回はロゴやポスター、映像など15部門にプロ・アマから計約千点が寄せられた。

ロゴは舞台幕で漢数字の「四」、太陽でゼロを表現。それぞれをサポート役の職員と、夢に向かってステージに上がるアーティストに見立て、両者が寄り添い共に歩む未来をイメージした。広告代理店のアド・スパー・ブレン（熊本市南区）が制作し、審査では「漢数字と幕を組み合わせたアイデアが面白い」などと評価されたという。

県劇は「熊本地震や新型コロナウイルス禍など厳しい状況の中で40周年を迎えた。劇場の存在意義を問い続ける中で生まれたロゴが、栄誉ある賞をいただきとてもうれしい」としている。

(前田晃志)

2023年4月13日付熊日

県民の「広場」 文化交流の拠点に

県立劇場の役割や未来について語る姜尚中館長（熊本市中央区）



「県民の保全計画に基づく改修工事」は今回で4回目になります。

県民の中には「どうしてこんなに改修が多いんだろう」と思う人もいるかもしれない。地理的に恵まれたのは、県立劇場が（戦後のモダン建築を代表する建築家、前川國男さんが手がけた非常にレアな建物だといふこと、完成から40年以上がたち、震災もあって、いろんな

「県民にとってどのような存在でありたいですか。」

県立劇場は県民のための「広場」。残念なことには地域間や経

県立劇場が担う役割 姜尚中館長に聞く

1982年に開館し、熊本地震、新型コロナウイルス禍に見舞われながらも舞台芸術の灯を41年にわたってともし続けてきた県立劇場（熊本市中央区）。利用者はコロナ禍前の水準に戻りつつあるが、11月13日から改修工事に入り、来年3月15日まで施設の利用が全面的にできなくなる。県劇が担う役割について、姜尚中館長に改めて聞いた。

地域固有の芸能発掘も

「多言語化が進み、価値観も多様化していると思う。いま起きているさまざまな問題の根底には、男はこう、女はこうでなければならないといった単一の価値観がある。類型にめとものを求める時代はもう終わらせなければならぬ。文化や芸術は、人間が持つ底知れない多様性を教えてくれる。さまざまな障壁を取っ払っていき、そのための県立劇場でありたい。」

(澤本麻里子)



県立劇場の外観

県立劇場（熊本市中央区）は、昨年度の開館40周年記念事業として制作した動画「動く劇場～5 Stories～」のメイキング映像をYouTubeで公開した。

動画は5本制作。世界文化遺産に登録されている三角西港（宇城市）、万

開館40年 メイキング動画 崎津教会で貴重な演奏

田坑（荒尾市）、崎津集落（天草市）など県内の文化遺産を舞台に、熊本ゆかりのアーティストたちが弦楽や太鼓、ダンスなどのパフォーマンスを披露している。

新たに公開したメイキング映像では、ものづくりに奮闘するアーティストやスタッフの様子を音楽に乗せて紹介。担当者は「本編には収録できなかった崎津教会内での貴重な演奏もあるので、ぜひチェックしてほしい」と話している。

(澤本麻里子)

2023年9月3日付熊日

近現代美術の魅力 対談

県劇・姜氏と国立近代美術館・三輪氏



出品された名画について語り合う姜尚中・
県立劇場館長(左奥)と三輪健仁・東京国立
近代美術館美術課長＝20日、熊本市中央区

県立劇場の姜尚中館長と、東京国立近代美術館の三輪健仁美術課長の対談が20日、熊本市中央区の県立美術館本館であった。同館で開催中の「20世紀美術の冒険者たち」の関連イベント。参加者70人を前に、出品作品の魅力について語り合った。

東京国立近代美術館、県立美術館、高松市美術館の

3館が所蔵する名作を通して、近代以降の美術表現の変遷をたどる展覧会。1900～60年代の絵画を中心に計76点を展示している。こちらを見下ろすように寝そべる女性を描いた萬鉄五郎の「裸体美人」(重要文化財)は1912(明治45)年の作品。姜さんは「大逆事件が起きるなど表現の自由が失われていた当

時としては大胆なポーズだったのでは」と推察。これを受けて三輪さんは「性的な構図ではなく、脇毛や鼻の穴まで包み隠さず描写し、女性を強い存在として表現している。萬がフェミニストだったかは分からないが、今の時代で捉え直す面白さがある」と語った。

死闘を繰り広げる兵士と死者を描いた藤田嗣治の「アッツ島玉砕」(1943年)は、戦争に協力したとして賛否を巻き起こした。姜さんは「戦争の悲惨さを描いており、戦意高揚だけが狙いだったとは思えない」と指摘。三輪さんは「同じ思い」とした上で「美術作品で人を感動させるという意味では、藤田は満足していたのかもしれない」との見方を示した。

(澤本麻里子)

2023年8月21日付熊日

県立劇場管理者 公益財団継続へ

29年3月末まで

県は20日、県立劇場(熊本市中央区)を運営する指定管理者の候補者に、非公募で「公益財団法人熊本県立劇場」(宮尾尚理理事長)を選んだと発表した。指定期間は2024年4月から29年3月末までの5年間。12月県議会の議決を経て正式決定する。

文化関係者や施設利用者ら5人でつくる選考委員会を4日に開き、同法人を審査。県文化企画・世界遺産推進課によると、「県の文化拠点として人材育成や地域連携ができており、財務状況に問題がない」などと評価されたという。

同法人は、同劇場に指定管理者制度が導入された06年度から4回連続で管理者として契約。24年3月末で4期目の指定期間(5年)の満期を迎える。次期の指定管理者に対する基準価格(委託料の上限額)は23億4831万円。今期の委託料は20億2836万円で、光熱費の高騰などにより増加した。

県有施設の指定管理者の選定は原則公募。県は「文化事業の継続性」などの観点から、18年に同劇場に限り特例として非公募で選定できるよう県条例を改正した。

(緒方李咲)

2023年10月24日付熊日

□資料 2 [アウトリーチ実施校]

市町村名	期日	学校名	学年	演奏家	参加者(人)
宇土市	10月10日	住吉中学校	1年	小路永和奈（箏）	42
	10月17日	宇土東小学校	5年	〃	21
	〃	宇土東小学校		〃	23
八代市	10月16日	八竜小学校	2～6年	亀子政孝（コントラバス）	30
	10月17日	千丁小学校	6年	〃	37
	〃	千丁小学校	6年	〃	38
	10月20日	郡築小学校	4年	小路永和奈（箏）	32
津奈木町	10月17日	津奈木小学校	2年	若木麻有（オーボエ）	33
	〃	〃	1年	〃	15
	〃	〃	4年	〃	40
	〃	〃	3年	〃	30
	〃	〃	6年	〃	28
	〃	〃	5年	〃	36
美里町	10月23日	砥用小学校	6年	若木麻有（オーボエ）	9
	〃	〃	5年	〃	21
	10月24日	〃	1年	〃	10
	〃	〃	2年	〃	23
	10月25日	〃	3年	〃	15
	〃	〃	4年	〃	19
芦北町	11月7日	湯浦小学校	6年	小路永和奈（箏）	43
	11月8日	田浦小学校	6年	〃	24
	11月28日	佐敷小学校	6年	緒方愛子（ヴァイオリン）	41
	〃	大野小学校	1～6年	〃	29
	11月30日	内野小学校	3～6年	亀子政孝（コントラバス）	33
南小国町	11月20日	中原小学校	1～2年	春日香南（クラリネット）	15
	〃	〃	3～6年	〃	23
	11月29日	りんどうヶ丘小学校	3～6年	〃	27
	〃	〃	1～2年	〃	18
	1月22日	市原小学校	3～4年	若木麻有（オーボエ）	34
	〃	〃	5～6年	〃	34
	1月26日	〃	1～2年	〃	20
	2月6日	南小国中学校	1年	春日香南（クラリネット）	25
	2月8日	〃	2年	〃	16
	2月13日	〃	3年	〃	40
あさぎり町	11月27日	岡原小学校	4～5年	春日香南（クラリネット）	30
	〃	上小学校	5年	〃	34
	11月28日	須恵小学校	4～6年	亀子政孝（コントラバス）	30
	〃	深田小学校	4～6年	〃	45
	11月29日	免田小学校	5年	〃	23
	〃	〃	5年	〃	23

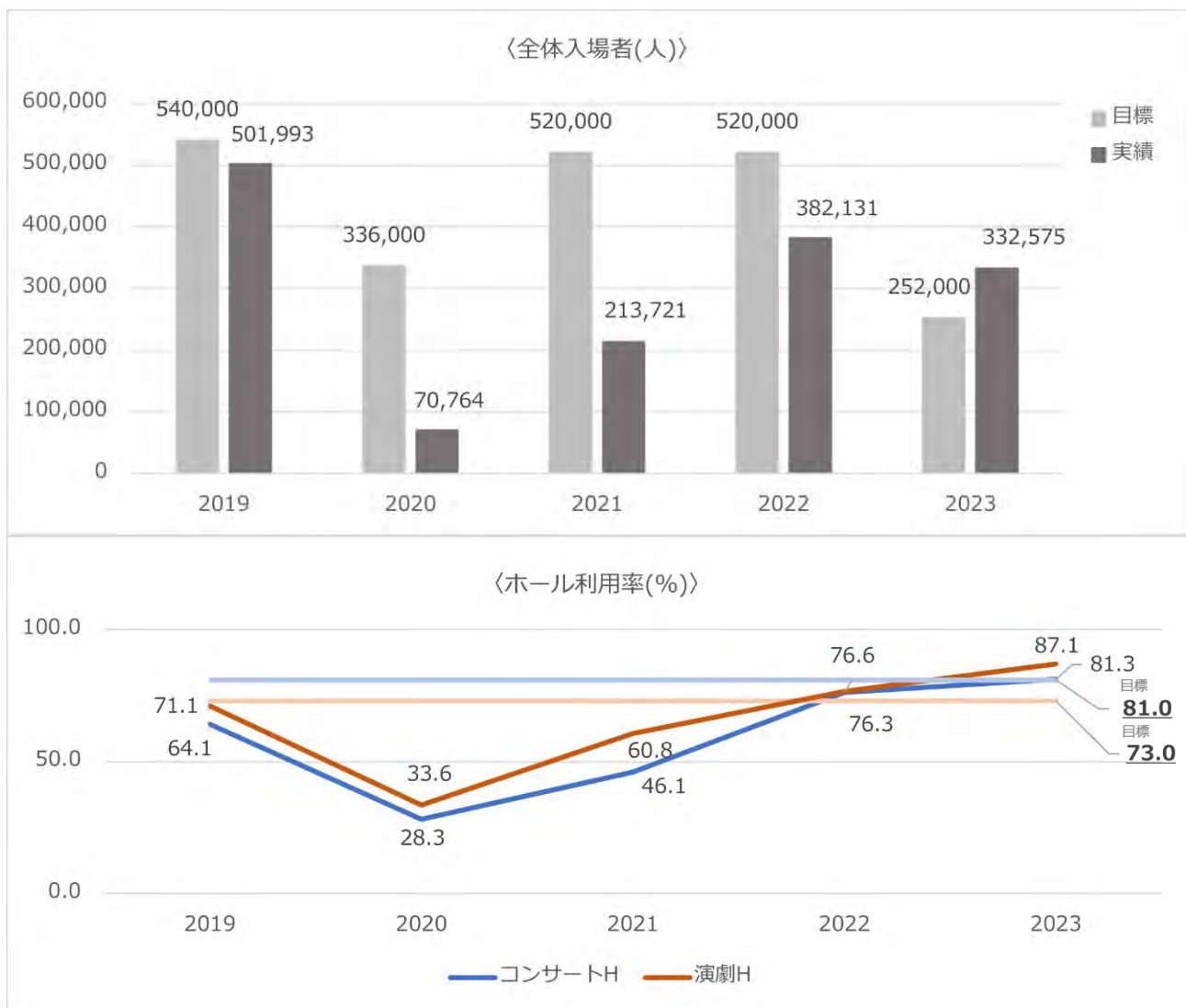
市町村名	期日	学校名	学年	演奏家	参加者(人)
産山村	11月28日	産山学園	4～6年	小路永和奈（箏）	30
	〃	〃	1～3年	〃	29
	11月29日	〃	9年	〃	13
	11月30日	〃	8年	〃	8
	〃	〃	7年	〃	14
多良木町	12月11日	黒肥地小学校	4年	小路永和奈（箏）	27
	〃	久米小学校	3～6年	〃	25
	12月12日	多良木小学校	4年	〃	26
水俣市	12月13日	水俣第一中学校	3年	緒方愛子（ヴァイオリン）	32
	〃	〃	3年	〃	33
	12月14日	水俣第一小学校	4年	〃	24
	〃	〃	4年	〃	24
	12月15日	〃	4年	〃	24
	〃	緑東中学校	1～6年	〃	24
	12月18日	水俣第二小学校	6年	小路永和奈（箏）	24
	〃	〃	6年	〃	31
	12月21日	水東小学校	1～6年	〃	41
	〃	袋小学校	6年	〃	29
	1月17日	子ども自室支援室	1～3年	〃	4
	〃	袋中学校	2年	〃	20
	1月19日	久木野小学校	1～6年	春日香南（クラリネット）	13
	〃	葛渡小学校	1～6年	〃	30
	1月22日	湯出小学校	1～6年	〃	22
	1月26日	水俣第二中学校	1年	〃	29
	〃	〃	1年	〃	28
益城町	2月7日	飯野小学校	4年	春日香南（クラリネット）	21
	〃	〃	4年	〃	21
	2月13日	広安西小学校	4年	亀子政孝（コントラバス）	34
	〃	〃	4年	〃	34
	2月14日	〃	4年	〃	34
	〃	〃	4年	〃	34
	2月20日	広安小学校	4年	〃	36
	〃	〃	4年	〃	36
	2月21日	〃	4年	〃	36
	〃	〃	4年	〃	37
	2月28日	津森小学校	3～4年	春日香南（クラリネット）	40
	〃	益城中央小学校	4年	〃	29
	2月29日	〃	4年	〃	29
	〃	〃	4年	〃	30
荒尾市	3月7日	平井小学校	6年	岡村彬子（メゾソプラノ）	28
	〃	〃	3年	〃	28
合計					2,220

□資料 3〔施設別利用状況〕

施設名	利用状況	2023 年度	2024 年度	前年度比	(参考) 2015 年度
コンサートホール	利用可能日数	208	270	-62	296
	利用日数	169	206	-37	217
	利用率 (%)	81.3	76.3	5.0	73.3
	入場者数 (人)	125,281	148,384	-23,103	218,389
演劇ホール	利用可能日数	209	291	-82	285
	利用日数	182	223	-41	225
	利用率 (%)	87.1	76.6	10.4	78.9
	入場者数 (人)	89,182	98,591	-9,409	144,600
大会議室	利用可能日数	217	303	-86	312
	利用日数	113	160	-47	226
	利用率 (%)	52.1	52.8	-0.7	72.4
	入場者数 (人)	14,641	20,406	-5,765	50,191
和室	利用可能日数	227	325	-98	334
	利用日数	71	88	-17	125
	利用率 (%)	31.3	27.1	4.2	37.4
	入場者数 (人)	1,549	1,857	-308	2,289
音楽リハーサル室	利用可能日数	225	323	-98	332
	利用日数	172	225	-53	242
	利用率 (%)	76.4	69.7	6.8	72.9
	入場者数 (人)	12,956	16,416	-3,460	21,530
演劇リハーサル室	利用可能日数	227	327	-100	332
	利用日数	134	188	-54	184
	利用率 (%)	59.0	57.5	1.5	55.4
	入場者数 (人)	9,136	14,765	-5,629	11,776
第 1 練習室	利用可能日数	227	327	-100	336
	利用日数	109	156	-47	179
	利用率 (%)	48.0	47.7	0.3	53.3
	入場者数 (人)	8,431	10,166	-1,735	13,373
第 2 練習室	利用可能日数	227	328	-101	334
	利用日数	165	263	-98	245
	利用率 (%)	72.7	80.2	-7.5	73.4
	入場者数 (人)	5,479	6,527	-1,048	11,151
第 3 練習室	利用可能日数	227	327	-100	339
	利用日数	149	256	-107	283
	利用率 (%)	65.6	78.3	-12.6	83.5
	入場者数 (人)	5,544	8,150	-2,606	13,721
他の入場者数	入場者数 (人)	60,376	56,869	3,507	3,605
入場者数合計 (人)		332,575	382,131	-49,556	490,625

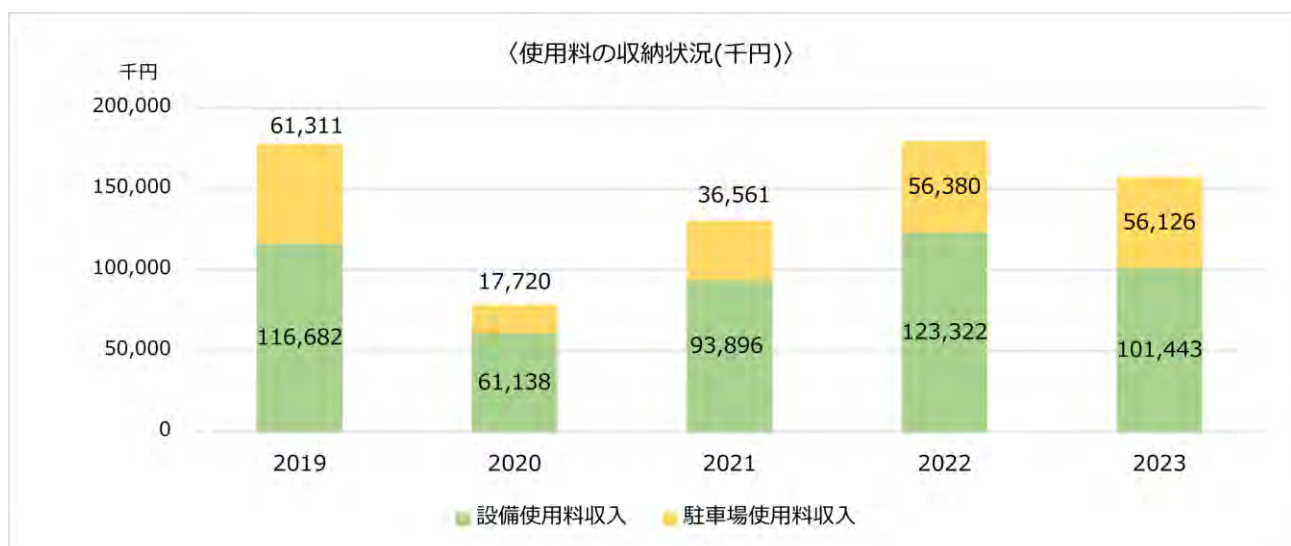
□資料 4 [ホール別・形態別利用状況（ホール・大会議室）]（単位:日）

施設名	形態別	2023 年度	2022 年度	前年度比	(参考) 2015 年度
コンサート ホール	利用可能日数	208	270	-62	296
	音楽会	119	148	-29	148
	歌謡ショー	0	0	0	0
	大会・集会・式典	12	17	-5	14
	研修・講演・発表会	24	29	-5	39
	その他	14	12	2	16
	利用日数計	169	206	-37	217
	利用率（%）	81.3	76.3	5.0	73.3
演劇ホール	利用可能日数	209	291	-82	285
	演劇	20	27	-7	27
	邦舞・邦楽	10	2	8	5
	洋舞	29	33	-4	32
	古典芸能等	14	15	-1	11
	大会・集会・式典	13	10	3	15
	研修・講演・発表会	55	84	-29	64
	歌謡・音楽会	29	35	-6	59
	映写会	0	0	0	0
	その他	12	17	-5	12
	利用日数計	182	223	-41	225
	利用率（%）	87.1	76.6	10.4	78.9
大会議室	利用可能日数	217	303	-86	312
	大会・集会・式典	4	10	-6	8
	研修・講演・発表会	67	103	-36	159
	映写会	0	0	0	0
	展示会	0	4	-4	4
	歌謡・音楽会	28	37	-9	40
	その他	14	6	8	15
	利用日数計	113	160	-47	226
	利用率（%）	52.1	52.8	-0.7	72.4



□資料 5〔使用料の収納状況の推移〕

年度	設備使用料収入	駐車場使用料収入	計
2023 年度	101,442,750 円	56,125,600 円	157,568,350 円
2022 年度	123,322,410 円	56,380,000 円	179,702,410 円
2021 年度	93,895,600 円	36,560,800 円	130,456,400 円
2020 年度	61,137,795 円	17,720,400 円	78,858,195 円
2019 年度	116,681,540 円	61,311,400 円	177,992,940 円



□資料6〔正味財産増減計算書〕

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	800	800	0
基本財産受取利息	800	800	0
特定資産運用益	2,299	1,772	527
退職手当引当資産受取利息	660	610	50
特別企画事業積立資産受取利息	500	499	1
開館40周年記念事業準備資金受取利息	0	663	△ 663
オペラプロジェクト2024積立資金受取利息	520	0	520
令和5年度システム等設備整備積立資金受取利息	499	0	499
減価償却引当積立資金受取利息	120	0	120
事業収益	21,598,750	43,715,179	△ 22,116,429
創造拠点事業収益	5,648,400	5,992,000	△ 343,600
普及拠点事業収益	15,938,000	30,497,608	△ 14,559,608
市民会館事業収益	0	7,080,000	△ 7,080,000
雑収益	12,350	145,571	△ 133,221
受託収益	419,581,000	432,025,000	△ 12,444,000
管理業務受託収益	371,376,000	371,376,000	0
事業受託収益	36,600,000	51,179,000	△ 14,579,000
制作受託収益	11,605,000	9,470,000	2,135,000
広告料及び協賛金収益	1,090,000	385,000	705,000
広告料収益	90,000	385,000	△ 295,000
協賛金収益	1,000,000	0	1,000,000
受取補助金等	29,437,920	46,518,841	△ 17,080,921
受取団体助成金	29,437,920	46,518,841	△ 17,080,921
雑収益	12,327,367	9,636,697	2,690,670
受取利息	1,641	1,794	△ 153
講演料収益	1,341,400	218,000	1,123,400
雑収益	10,984,326	9,416,903	1,567,423
経常収益計	484,038,136	532,283,289	△ 48,245,153
(2) 経常費用			
創造拠点事業費	50,170,840	78,949,239	△ 28,778,399
臨時雇賃金	28,365	9,600	18,765
会議費	44,000	5,457	38,543
諸謝金	505,000	120,000	385,000
旅費交通費	2,271,829	2,001,560	270,269
出演者等食糧費	172,772	603,264	△ 430,492
什器備品費	0	603,108	△ 603,108
消耗品費	1,039,862	2,421,605	△ 1,381,743
燃料費	27,560	43,607	△ 16,047
印刷製本費	852,605	489,560	363,045
保険料	41,571	33,437	8,134
通信運搬費	486,960	478,809	8,151
広告費	1,775,433	298,039	1,477,394
支払手数料	256,528	112,659	143,869
委託費	33,517,986	62,667,550	△ 29,149,564
賃借料	7,489,319	7,361,020	128,299
支払助成金	1,318,800	1,265,400	53,400
租税公課	3,600	14,000	△ 10,400
雑費	338,650	420,564	△ 81,914
普及拠点事業費	44,760,943	67,657,058	△ 22,896,115
臨時雇賃金	45,035	19,200	25,835
会議費	0	2,190	△ 2,190
諸謝金	105,000	70,000	35,000
旅費交通費	959,138	580,538	378,600
出演者等食糧費	101,829	226,711	△ 124,882
什器備品費	0	609,268	△ 609,268
消耗品費	88,620	295,738	△ 207,118
燃料費	46,540	35,898	10,642
印刷製本費	845,440	828,200	17,240
保険料	2,064	6,300	△ 4,236
通信運搬費	319,291	391,805	△ 72,514
広告費	900,892	917,883	△ 16,991
支払手数料	388,840	605,412	△ 216,572
委託費	38,732,415	59,832,349	△ 21,099,934
賃借料	2,194,039	3,193,966	△ 999,927
租税公課	30,000	34,600	△ 4,600
雑費	1,800	7,000	△ 5,200
普及・啓発広報事業費	5,398,005	6,224,919	△ 826,914
会議費	0	2,250	△ 2,250
旅費交通費	16,730	0	16,730
消耗品費	5,254	0	5,254
通信運搬費	892,081	1,084,969	△ 192,888
委託費	4,481,840	5,135,300	△ 653,460
賃借料	2,100	2,400	△ 300

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
市民会館事業費	0	18,218,473	△ 18,218,473
給料手当	0	3,866,640	△ 3,866,640
職員手当	0	133,324	△ 133,324
臨時雇賃金	0	19,200	△ 19,200
諸謝金	0	70,000	△ 70,000
旅費交通費	0	75,214	△ 75,214
出演者等食糧費	0	52,410	△ 52,410
消耗品費	0	999,801	△ 999,801
印刷製本費	0	214,750	△ 214,750
通信運搬費	0	210,788	△ 210,788
広告費	0	1,314,592	△ 1,314,592
支払手数料	0	254,102	△ 254,102
委託費	0	10,832,739	△ 10,832,739
賃借料	0	149,913	△ 149,913
租税公課	0	25,000	△ 25,000
管理費	374,450,804	365,779,053	8,671,751
報酬	420,000	315,000	105,000
給料手当	81,944,260	74,758,809	7,185,451
職員手当	28,422,646	28,356,468	66,178
賞与引当金繰入額	8,433,000	8,434,000	△ 1,000
退職給付費用	4,000,660	2,500,610	1,500,050
福利厚生費	22,168,666	21,519,691	648,975
交際費	0	28,000	△ 28,000
会議費	219,333	201,375	17,958
諸謝金	11,200	0	11,200
旅費交通費	2,361,274	2,483,463	△ 122,189
減価償却費	6,643,509	6,387,805	255,704
建物減価償却費	33,382	0	33,382
建物付属設備減価償却費	53,887	40,163	13,724
構築物減価償却費	253,000	253,000	0
工具備品減価償却費	2,016,128	1,807,530	208,598
リース資産減価償却費	4,287,112	4,287,112	0
什器備品費	7,123,925	165,000	6,958,925
消耗品費	5,046,242	3,620,329	1,425,913
修繕費	9,354,749	9,190,236	164,513
印刷製本費	285,970	359,336	△ 73,366
光熱水費	50,979,395	51,173,719	△ 194,324
保険料	585,680	537,930	47,750
通信運搬費	970,597	929,640	40,957
支払手数料	2,522,076	2,573,142	△ 51,066
委託費	124,612,920	133,688,043	△ 9,075,123
賃借料	3,448,598	4,397,000	△ 948,402
支払負担金	264,890	257,001	7,889
租税公課	14,368,200	13,453,250	914,950
支払利息	69,814	195,312	△ 125,498
雑費	193,200	253,894	△ 60,694
経常費用計	474,780,592	536,828,742	△ 62,048,150
当期経常増減額	9,257,544	△ 4,545,453	13,802,997
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
除却損失	3	4	△ 1
工具備品除却損	3	4	△ 1
経常外費用計	3	4	△ 1
当期経常外増減額	△ 3	△ 4	1
税引前当期一般正味財産増減額	9,257,541	△ 4,545,457	13,802,998
法人税、住民税及び事業税	1,457,800	81,000	1,376,800
当期一般正味財産増減額	7,799,741	△ 4,626,457	12,426,198
一般正味財産期首残高	176,775,057	181,401,514	△ 4,626,457
一般正味財産期末残高	184,574,798	176,775,057	7,799,741
II 指定正味財産増減の部			
受取寄附金	0	12,020	△ 12,020
受取寄附金	0	12,020	△ 12,020
特定資産運用益	42	42	0
文化事業寄附積立資産受取利息	42	42	0
当期指定正味財産増減額	42	12,062	△ 12,020
指定正味財産期首残高	24,241,371	24,229,309	12,062
指定正味財産期末残高	24,241,413	24,241,371	42
III 正味財産期末残高	208,816,211	201,016,428	7,799,783

□資料7〔貸借対照表〕

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	65,493,204	17,042,227	48,450,977
現金	755,600	406,800	348,800
普通預金肥後銀行大江支店(58070)	48,789,997	10,196,850	38,593,147
普通預金肥後銀行大江支店(48296)	1,747,760	106,270	1,641,490
普通預金肥後銀行大江支店(48949)	14,199,847	6,332,307	7,867,540
普通預金肥後銀行大江支店(112640)	0	0	0
未収入金	16,211,353	50,872,021	△34,660,668
前払金	2,446,631	1,119,289	1,327,342
流動資産合計	84,151,188	69,033,537	15,117,651
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産積立預金	40,000,000	40,000,000	0
基本財産合計	40,000,000	40,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	37,041,870	33,041,210	4,000,660
特別企画事業積立資産	25,038,797	25,038,297	500
文化事業寄附積立資産	4,241,413	4,241,371	42
オペラプロジェクト2024積立資金	30,000,520	30,000,000	520
令和5年度システム等設備整備積立資金	0	26,000,000	△26,000,000
減価償却引当積立資金	14,000,120	10,000,000	4,000,120
子ども未来プロジェクト2024準備資金	4,000,000	2,000,000	2,000,000
シアターアジア推進事業準備資金	20,000,000	17,000,000	3,000,000
子ども未来プロジェクト2025準備資金	2,000,000	0	2,000,000
特定資産合計	136,322,720	147,320,878	△10,998,158
(3) その他固定資産			
建物	9,981,912	0	9,981,912
建物付属設備	2,407,774	593,365	1,814,409
構築物	1,496,917	1,749,917	△253,000
工具備品	12,609,041	7,239,559	5,369,482
リース資産	0	4,287,112	△4,287,112
その他固定資産合計	26,495,644	13,869,953	12,625,691
固定資産合計	202,818,364	201,190,831	1,627,533
資産合計	286,969,552	270,224,368	16,745,184
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	11,016,523	10,714,634	301,889
未払消費税等	3,920,700	2,031,600	1,889,100
預り金	17,741,248	10,373,580	7,367,668
1年以内返済予定リース債務	0	3,769,840	△3,769,840
賞与引当金	8,433,000	8,434,000	△1,000
流動負債合計	41,111,471	35,323,654	5,787,817
2. 固定負債			
退職給付引当金	37,041,870	33,041,210	4,000,660
リース債務	0	843,076	△843,076
固定負債合計	37,041,870	33,884,286	3,157,584
負債合計	78,153,341	69,207,940	8,945,401
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄附金	24,241,413	24,241,371	42
指定正味財産合計	24,241,413	24,241,371	42
(うち基本財産への充当額)	(20,000,000)	(20,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(4,241,413)	(4,241,371)	(42)
2. 一般正味財産	184,574,798	176,775,057	7,799,741
(うち基本財産への充当額)	(20,000,000)	(20,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(95,040,097)	(110,038,297)	(△14,998,200)
正味財産合計	208,816,211	201,016,428	7,799,783
負債及び正味財産合計	286,969,552	270,224,368	16,745,184

□資料 8 [文化事業チラシ]

ホワイエサロンコンサート vol.6

清原 晏 箏リサイタル

Concert Hall Foyer
koto Haru Kiyohara

2023年 5月13日(土)
開場 13:30 開演 14:00 終演 15:15(予定)

熊本県立劇場
コンサートホールホワイエ

全席自由山・税込 3,000円 (税込3,000円)

主催 / (公財)熊本県立劇場 後援 / 熊本日日新聞社
お問い合わせ / 熊本県立劇場 096-363-2233

◆共演
細川壽弘 (声)
山上聖宗 (ピアノ)

◆曲目
・水の安魂：齊城道雄
・百花譜：武井忠夫
・風舞い花：磯村山紀子

ホワイエサロンコンサート vol.6

藤原道山 × SINSKE

shakuhachi Dozan Fujiwara marimba SINSKE

藤原道山 × SINSKE
～尺八とマリンパによる世界最小オーケストラ～
「東方見聞録 - 諸国漫遊記編 -」

2023年 6月17日(土)
開場 13:30 開演 14:00

熊本県立劇場コンサートホールホワイエ

全席自由山・税込 3,000円 (税込3,000円)

主催 / (公財)熊本県立劇場 後援 / 熊本日日新聞社
お問い合わせ / 熊本県立劇場 096-363-2233

ホワイエサロンコンサート vol.7

現代音楽への誘い

熊本県立劇場

山崎 貴子 Takako Yamasaki violin

山澤 慧 Rei Yamazawa cello

国枝 春恵 Haruo Kunida piano

山田 高志 Takashi Yamada harpsichord

2023年 9月1日(金)
開場 17:50 プレレグチャー 18:00～
演奏開始 19:00～ 終演予定 20:15

熊本県立劇場コンサートホールホワイエ

全席自由山・税込 3,000円 (税込3,000円)

主催 / (公財)熊本県立劇場 後援 / 熊本日日新聞社
お問い合わせ / 熊本県立劇場 096-363-2233

熊本県立劇場文化事業

あかちゃんダンス!

ママもパパもあかちゃんも、
一緒にからだを動かしましょう!

2023 8/19 [土]

午前 11:00～12:00 午後 14:00～15:00

会場 熊本県立劇場
コンサートホールホワイエ

出演者 古家 優里 アシスタント 長谷川 風立子

料金 全席10歳未満 (乳児1名につき保護者を1名含む) 1組につき500円

申込 5か月～1歳半(くらい)までの乳児と保護者(ダンス経験者不要)

申込先 以下①～③を明記の上、メールにてご応募ください。
①参加するお子さまのお名前(フリガナ)
②年齢(月齢) ③性別
④保護者のお名前、住所、電話番号
⑤希望の部(午前/午後)

お問い合わせ・申込用メールアドレス
bosyu@kengei.or.jp

【注意事項】
●お申し込み後、必ず参加申し込み書(お申し込み書)を提出していただきます。
●参加申し込み書(お申し込み書)を提出していただくまで、参加申し込みはキャンセルできません。

主催 / (公財)熊本県立劇場 後援 / 熊本日日新聞社
申し込み・お問い合わせ / 熊本県立劇場 096-363-2233

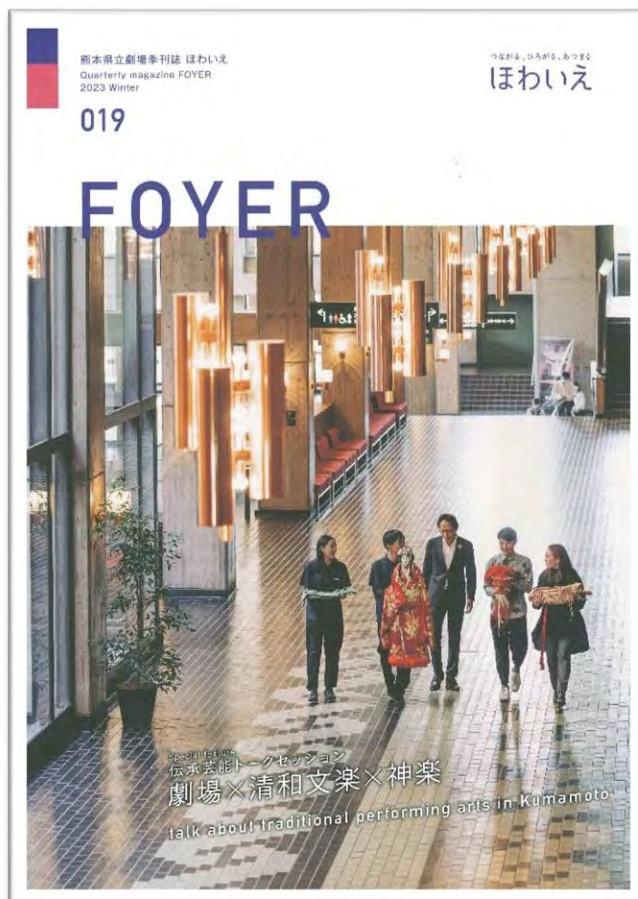
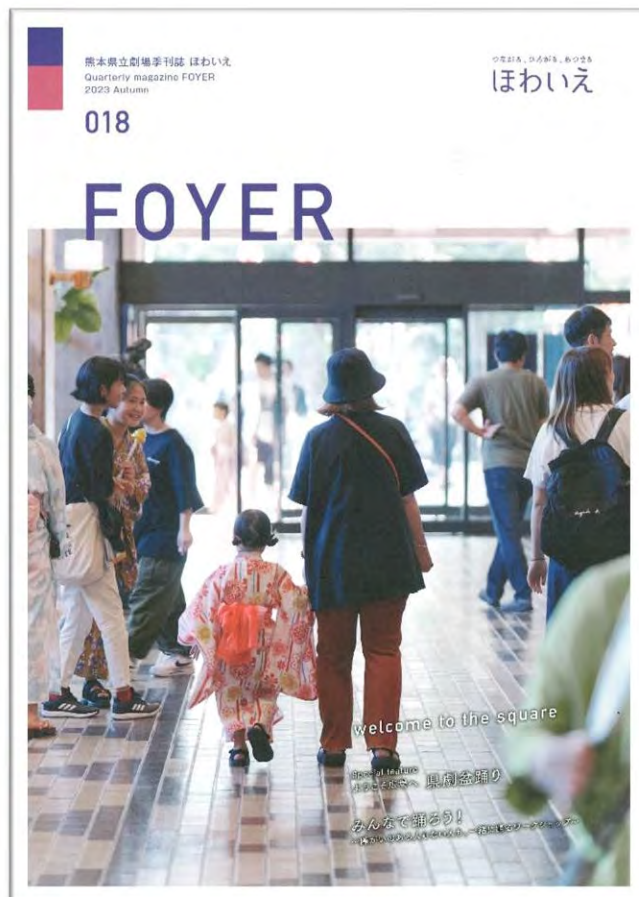
熊本県立劇場季刊誌 ほわいえ
Quarterly magazine FOYER
2023 summer

ひまわり、ひまわり、あつた

ほわいえ

017

FOYER



2023 年度 熊本県立劇場アニュアルレポート

2024 年 10 月 1 日発行

公益財団法人熊本県立劇場

熊本県熊本市中央区大江 2 丁目 7 番 1 号

電話 096-363-2233（代）

<https://www.kengeki.or.jp>